

公表

## 事業所における自己評価結果

事業所名		みんなはなまる松島教室(放課後等デイサービス)				公表日	令和7年 3 月 20 日
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	6		○活動部屋を活動内容に応じて部屋の使い方等の工夫をしています。		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	6		○基準職員配置をしています。		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	6		○施設内はバリアフリー化され廊下には手すりが設置されています。		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。	6		○活動内容に合わせてレイアウトを変えたり、整理整頓を心がけています。		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	6		○必要に応じてパーティションで区切る等、個別の部屋作りに工夫をしています。		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	6		○月末に事業所会議を実施しています。業務改善のためpdcaサイクルを職員が意識しています。		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6		○開所して初めての評価表です。	○評価表の保護者からの意見を聞き改善を図っていきます。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6		○その都度、意見交換をしています。		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		6		○今後は評価結果を踏まえ業務改善に繋げていきたいと思っています。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	6		○身体拘束・虐待・感染症等の研修を実施しています。	○今後は支援に反映できる外部研修に積極的に参加をしていきます。	
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	5	1		○公表されています。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	6		○契約時や、保護者と直接話す機会を持ち課題の分析を行い支援計画を作成しています。		
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6		○支援計画作成前には、ケース会議を実施しています。		
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6		○共有されています。		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	6				

適切な支援の提供	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6		○意識をし支援内容が設定されています。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	5	1	○活動の領域ごとの立案は事前に会議で話し合いをしています。	○もう少し具体的に立案を考えていきたいと思っています。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6		○毎日の設定活動は固定しないように工夫しています。立案時にはみんなで相談をし決めていきます。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	6		○その日の活動に沿って集団の中の個別活動を実施しています。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	5	1	○細かな情報共有は実施しています。	○場面場面を数多く想定をしながら、支援をしていきたいと思っています。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	6		○振り返りの時間はあえて設けていませんが、自然な形で出ています。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6		○記録は残しています。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6		○必要に応じてサービス計画の見直しをしています。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	6		○◎自立支援・日常生活の充実のための活動◎創作活動◎地域交流の機会の提供◎余暇の提供意識をしながらの支援を心がけています。	
25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	6		○児童が自己選択が出来る支援を心がけています。		
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6		○児童発達支援管理責任者が参画しています。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	6			
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	6		○保護者を介し学校との連携を図っています。また担当者会議の場や直接学校との情報共有も随時行っています。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	6		○事業所は多機能のため、児童発達支援から継続支援が来ています。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	4	2	○該当児童はいません。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	4	2		○今後は必要に応じて助言や研修に参加していきたいと思っています。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	4	2		○今後は交流できる活動を取り入れていきたい。

	33	(自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか。	3	3		
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	6	1	○保護者と情報共有を送迎時に行っている。発達の状況も合わせて支援の確認もしている。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	5	1		○定期的な家族に向けてのペアレントトレーニングは実施していないため、参加出来る研修に参加をしていきたいと思ます。
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6		○運営規定・重要事項説明書は掲示されています。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の視点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6			
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	6		○同意を頂いて署名を頂いています。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6		○その都度悩みを聞きながら、助言をしています。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機軸を設ける等の支援をしているか。	4	2	○保護者会は実施していないが、合同行事をし保護者同士の交流の場設けています。	○保護者を6月に予定しています。今後も合同行事を継続し実施していきたいと思ます。
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6			○苦情があった際には適切に対応していきたいと思ます。
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	6		○毎月、お便りの発行をしています。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6		○注意をしています。	
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6		○しています。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	5	1	○事業所行事がある際は近隣の施設を招待しています。	
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	6		○マニュアルを作成し保管されています。	
	47	業務継続計画(BCP)を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	6		○毎月、避難訓練を実施しています。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	6		○状況確認をし、記録に残し保護者・職員と共有をしています。	
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	6		○契約時、保護者に聞き取りをし書面でアレルギーの有無の確認や対処方法を確認をしています。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6			

応	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	6		○契約時に説明をしています。	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6		○発生をしたヒヤリハットは報告書にまとめ、職員間で確認をしています。報告書はファイリングをしています。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6		○虐待研修は事業所内で実施しています。	
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	6		○現在身体拘束を必要とする児童はいません。契約時に重要事項説明書で説明を行っています。	